

# WABAS 大阪は こんな会です！

発足よりの主なあゆみ

- 1993年 5月 「高齢社会をよくする女性の会・大阪」発足
- 1994年 9月 「高齢社会をよくする女性の会第13回全国大会 in 大阪」開催の事務局を担う
- 1998年 10月 大阪市きらめき賞受賞
- 2002年～2003年 文科省委託事業「ええもんみつけよ！！」～豊かな高齢社会へエンパワーメント～
- 2003年 10月 ホームページ開設  
10周年記念「輝け！ニューシルバー」事業（講演会・コンサート等）
- 2010年～2012年 介護保険ホットライン（電話相談）3年続けて実施 ※以下、各項目をご覧ください

情報発信

年4回の会報発行とホームページで、活動報告や取材記事、様々な情報を発信しています。会報第108号は特集「コロナ禍で想うこと」を発行。2021年3月に第110号発行。

研究会・勉強会

- ①介護問題研究会
- ②シニアライフ・サポート倶楽部
- ③認知症勉強会の3つの研究会があります。  
2020年度には、「コロナ禍と介護・くらし」と題した合同勉強会や「中原さくら・結城康博・浜田きよ子・堤修三」各講師による会員対象のセミナーを実施しました。  
※シニアライフサポート倶楽部の研究の中から「パーソナルメモ（緊急時お役立ちカード）」が生まれました。  
サイズ：縦13.5cm×横18cm（二つ折り・ひも付）  
※会員は誰でもいつからでも参加することができます（複数参加もOKです）。



調査

介護保険制度の発足前から改正の度に介護を受ける側・介護する側の両面にたって、アンケート・ヒアリング調査、ホットライン等を通じて現状を把握し、問題点を明らかにしています。その結果を報告書にまとめて報告集を開き、政策提言に活かしています。

政策提言活動

- 厚生労働省・社会保障審議会介護保険部会・衆参厚生労働委員会委員、大阪府・府内市町村などへ提言・要望を届けています。
- ・2002年、2004年 坂口厚生労働大臣へ提言書
- ・2008年 舛添厚生労働大臣へ意見書
- ・2013年 村木厚子厚生労働事務次官へ要請書
- ・2014年 衆議院厚生労働委員会・地方公聴会で参考人として意見陳述しました。

出前講座（講師派遣）

2007年から、行政や各種団体等の要請を受けて、「高齢期の暮らし方」「介護保険制度」等、自ら勉強したことの情報共有のために出前講座と講師派遣を行っています。

出版

◆書籍	「共倒れから共立ち社会へ」（明石書店刊）	1998年
◆冊子ほか	「高齢社会をよくする女性の会第13回全国大会 in 大阪記録」 「介護保険のやさしいガイドブック」 「巻頭言にみる歩み」～会報50号を記念して～	1994年 1999年 2004年
◆調査報告集	「わが街の福祉を創る」（発会の集い報告集） 「生と死」に関する意識調査報告書 「介護の社会化をめざして」 「明日へ向かって扉をたたくホームヘルパー」 「介護保険実施に向けてのアンケート調査報告書」 ええもんみつけよう！「豊かな高齢社会へエンパワーメント」 「介護保険制度下における 利用者とホームヘルパー」 「介護保険ホットライン報告書」 「介護保険制度の“生活援助”に関するアンケート調査」 「介護保険の“生活援助”におけるジェンダー平等に関する調査・研究」ヒアリング調査報告	1994年 1995年 1997年 1999年 1999年 2003年 2003年 2010～2012年 2014年 2017年



多世代・他団体との交流

- 活動と問題意識が共通している団体と情報交換を行い、活動の幅を広げています。
- ・ドーンセンター・クレオ大阪・ヌエック等の主催事業に参加しています。
- ・NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」全国大会に毎回参加。また、NPO法人のグループ会員として、アンケート等への協力をしています。
- ・介護に関する諸団体とともに、連続シンポ、介護問題ホットライン(電話相談)、アンケート調査等を実施しました。

## 調査研究

- 1998年 「介護保険実施に向けてのアンケート調査」  
 2002年 「介護保険制度における利用者と  
 ホームヘルパー調査」  
 2003年 「ええもんみつけよ!! 豊かな高齢社会へエンパワ  
 ーメント」(文部科学省委託事業)  
 2013年 「介護保険の“生活援助”に関するアンケート調査」  
 2015年 「介護保険制度の“生活援助”における ジェンダー  
 平等に関する調査・研究」ヒアリング調査

## セミナー・講演会等

- 発足～ 年4回程度、セミナー・講演会等実施  
 2015年 介護問題・年金・認知症などの連続講座実施  
 -----  
 2016年 「介護が必要になったとき、あなたは どうする？」  
 (結城康博・井上由美子・福井英夫)  
 「小さな農と食の歓び ～コミュニティハウス法隆  
 寺 11年の中で～」 (向平すむ)  
 「介護保険・新総合事業」(関本充史・市会議員4人)  
 「高齢期の家事援助を考える」 (斉藤弥生)  
 2017年 「混合介護」ってなに? (結城康博)  
 「ひとりぼっち」をつくらない (勝部麗子)  
 「いざという時の身の安全と暮らしを考える」  
 防災セミナー  
 「どうする医療・介護連携」 (井上由美子)  
 2018年 「“介護”なんてなんとかなると思っているあなた！」  
 (伊藤みどり)  
 「地域で“生”をまっとうするには？」(久坂部 羊)  
 「安心の“社会保障”というけれど・・・?!」(北明美)  
 「在宅介護」今の制度でどこまでできる?  
 (日下部雅喜・渡辺順子・渡邊令江)  
 2019年 「百まで生きる覚悟」って! (春日キスヨ)  
 「在宅医療」について (中嶋啓子)  
 「身近に迫りくる介護 なのに、ドンドン使いにく  
 くなる介護保険制度!」(石田路子)  
 2020年 会員によるトークセッション「どうする!  
 人生100年時代～これからのわたしの暮らし～」  
 「医師の視点&家族の視点で認知症ケアを考える」  
 (松本一生)  
 「ホームホスピスってどんなの?」 (東田 敦子)  
 (松澤ミサホ)

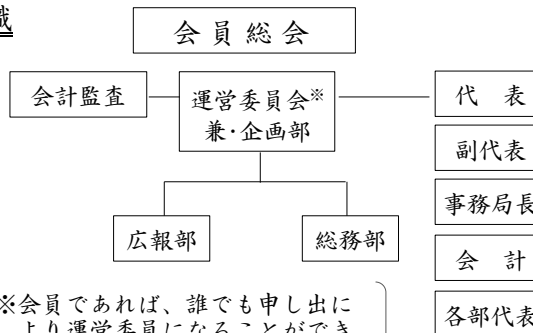
※詳細はホームページをご覧ください

「高齢社会をよくする女性の会・大阪」は  
 「自分たちの望む豊かな高齢社会を!」と願う  
 多くの仲間によって発会した市民グループです。  
 活動拠点はドーンセンターです。  
 (大阪府中央区大手前1-3-49)

介護する・される当事者として調査活動・  
 政策提言などを行なってきました。「超高齢  
 社会」のいま、地域で自分らしく生をまっ  
 とうするには、何が必要で、何をすればいいの  
 かが問われています。

私たちは、すべての世代の人が人間らしく  
 暮らすことができる社会の実現を目指し、人  
 権尊重と男女共同参画の視点で社会に向け  
 て情報発信し、提言活動を続けます。

## 組織



※会員であれば、誰でも申し出に  
 より運営委員になることができ  
 ます。一緒に活動しましょう!

	個人	グループ
会費	4,000円/年	12,000円/年
入会金	1,000円	
賛助会費	1口 5,000円/年	
◆郵便振替口座	00980-1-17848 高齢社会をよくする女性の会・大阪	
◆郵便貯金口座	ゆうちょ銀行 ○九九店 当座預金 17848 受取人名 コウレイシヤカイヲヨク スルジヨセイノカイオオサカ	



# 高齢社会を よくする 女性の会・大阪

Women's Association for the Better Aging Society/Osaka  
 (WABAS 大阪)

1993年5月15日設立

代表 植本 真砂子

事務局: Tel/Fax: 06-6762-0550  
 wabas-osaka@mbm.nifty.com  
 http://wabas-osaka.life.coocan.jp/

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町 9-13-501  
 (田代方)

2021年5月発行